

障害福祉と文化芸術の 関わりを考える勉強会

“わたし”と“あなた”の関係づくり

昨今、文化芸術の分野においては、障害のある人を含む多様な人たちや地域と関わることに、多くの注目が集まっています。この勉強会では、障害のある人の表現活動を支援している人の実践を伺い、障害福祉と文化芸術がお互いにとってより身近な存在となるためにできることは何か、考えを深めます。各回ではグループディスカッションの時間も取る予定です。みなさんと一緒に障害福祉と文化芸術のより良い関わりを探究していきます。

第1回 身体と身体の出会い

日時：2019年9月27日(金)14時～16時

ゲスト：上村なおか
(ダンサー・振付家)

会場：ミュザ川崎シンフォニーホール 市民交流室

参加費：500円

芸術家と障害のある人とのワークショップの現場では、身体が触れ合うことで生まれるコミュニケーションがあります。障害のある人とのダンスを続けている上村なおかさんを招き、障害のある人と出会うことで生まれる表現についてお話を伺います。また、参加者のみなさんにも実際にダンスワークショップを体験していただき、さらに身体への思考を深めます。
※動きやすい服装でお越しください

第2回 障害のある人との向き合い方～合理的配慮って？

日時：2019年10月23日(水)19時～20時30分

ゲスト：又村あおい
(全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員・
内閣府障害者差別解消法アドバイザー)

会場：STスポット

参加費：500円

障害のある人が文化施設を訪れたときに、どのようなことがあれば心地よく過ごせるでしょうか。2016年4月に施行された障害者差別解消法では、障害のある人がさまざまな場面で困りごとなく生活できるように「合理的配慮」を行うように定められました。この回では、法律の策定にも関わった又村あおいさんにお話を伺い、障害のある方への配慮について改めて考える機会とします。

第3回 創作活動を支えるために

日時：2019年12月5日(木)14時～16時

ゲスト：野崎美樹
(NPO法人スローレーベル
インクルーシブ・プロジェクトマネージャー)

会場：横浜市旭区民文化センター サンハート
ミーティングルーム

参加費：無料

障害のある人の「表現をしたい」という気持ちに寄り添うには、どのようなサポートの仕方があるでしょうか。この回では、舞台表現などの創作活動に取り組む障害のある人を、精神的・物理的に支える専門家「アクセスコーディネーター」の育成に取り組んでいるスローレーベルの野崎美樹さんをお招きし、障害のある人の創作活動を支えるために必要なこと、できることは何か、一緒に考えていきます。

第4回 障害のある人の声をきく

日時：2020年1月27日(月)19時～20時30分

ゲスト：横浜ピアスタッフ協会
中村麻美
(地域活動支援センターひふみ 施設長)

会場：STスポット

参加費：500円

横浜市内で精神障害のある人たちのネットワークを作っている横浜ピアスタッフ協会では、2017年から「神奈川ピアまつり」を開催し、当事者の思いを表現する場をつくることで、つながりを広げています。この回では、横浜ピアスタッフ協会で活動するみなさんと、横浜市神奈川区で精神障害のある人の居場所を運営している中村麻美さんに、精神障害のある人たちの活動を地域に開く取り組みについてお話を伺います。

ゲストプロフィール

第1回

上村なおか（うえむら・なおか）

1991 年お茶の水女子大学舞踊教育学科卒業。95 年より自作ソロダンスを開始。2009 年より十条にある「ヴィ街なか」にて、障害の有無に関わらず参加できるダンス教室で講師を務める。12 年からは S T スポット横浜とともに特別支援学校や福祉施設に出かけ、障害児・者との関わりを続けている。第 36 回舞踊批評家協会新人賞受賞。桜美林大学芸術文化学群講師。

第2回

又村あおい（またむら・あおい）

神奈川県平塚市福祉総務課地域福祉担当所属。1995 年平塚市役所へ入庁し、99 年より 8 年間障害福祉課に在籍。神奈川県庁、内閣府への出向を経て、2015 年より現職。内閣府の障害者差別解消法アドバイザー他、数多くの障害者団体の委員、構成員、講師等を務める。障害児者福祉制度全般、障害児者支援を通じた地域づくりなどが主な活動分野。

第3回

野崎美樹（のざき・みき）

英国で美術館教育を学ぶ。2011 年よりアーツ前橋（当時、前橋市美術館開設準備室）に学芸員として勤務後、川崎市岡本太郎美術館の教育普及担当学芸員を経て、2015 年 8 月より現職。障害の有無にかかわらず市民を巻き込んだプロジェクト型作品の制作、アートの現場のアクセシビリティ向上のための研究・人材育成に取り組む。

第4回

横浜ピアスタッフ協会

2015 年横浜がピアスタッフの生まれやすい街になることを目的に精神障害当事者、支援者中心に設立される。横浜を拠点にしながらも、横浜以外の地域からの参加も多く、精神障害者、会社員、家族、支援者など様々な立場の人が共に活動している。活動のモットーは「仲間（ピア）」を何よりも大事に思うこと、そして常に「楽しさ」を求めること。

中村麻美（なかむら・あさみ）

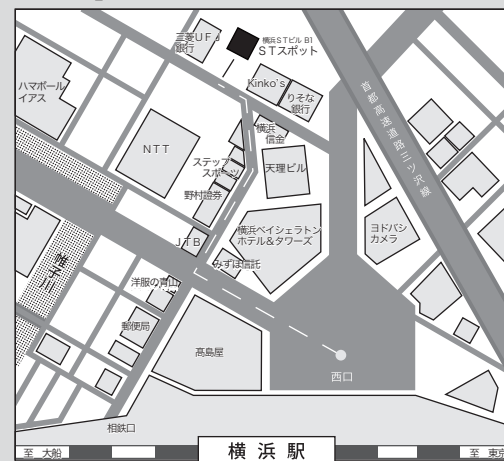
2005～2012 年まで世田谷パブリックシアターの学芸に所属し、劇場内・地域におけるワークショップ活動を主に担当。2012 年より横浜市神奈川区にある「地域活動支援センターひふみ」で精神障害のある人たちの日中活動の場を運営。劇場勤務時代に体得した、地域の様々な人との関わりや場の作り方などを活かしつつ、日々試行錯誤している。

会場案内

【第1回】ミュージア川崎シンフォニーホール 市民交流室
〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 4F
・JR 川崎駅より徒歩 3 分、京急川崎駅より徒歩 8 分



【第2回】、【第4回】S T スポット
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-15 横浜 ST ビル B1
・各線「横浜」駅から徒歩 10 分



【第3回】横浜市旭区民文化センター サンハート
ミーティングルーム
〒241-0821 横浜市旭区二俣川 1-3 二俣川ライフ 5F
・相鉄線二俣川駅より徒歩 1 分



対象

障害者との文化芸術活動に取り組んでいる、もしくは取り組みたいと考えている方。
主に文化施設や芸術団体に関わる方を想定していますが、ご興味をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。
※4 回連続の参加をお勧めしますが、1 回ごとのご参加も可能です

定員

各回 20 名（先着順、要事前申込）

お申込み方法

件名を「勉強会参加」として、以下の内容をこちらのメールアドレス（community@stspot.jp）までお送りください。
こちらからの返信をもってご予約完了となります。
①お名前（ふりがな）／②ご所属（あれば）／③参加ご希望の回／④当日連絡用の電話番号／
⑤メールアドレス／⑥この勉強会に期待すること※短くて構いませんので、ぜひお知らせください。

※参加するにあたって特別な配慮が必要な方は、2 週間前までにお知らせください。
※当日は記録のため写真撮影を行うことがあります。

お問合せ

認定 N P O 法人 S T スポット横浜 地域連携事業部（担当：田中真実、川村美紗）
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-15 横浜 S T ビル 208 MAIL：community@stspot.jp TEL：045-325-0410 FAX：045-325-0414
<https://welfare-stspot.jimdo.com>